

【創世記第5章】

「エノクは神とともに歩んだ。」

神が彼を取られたので、彼はいなくなった。」(創5:24)

私たちの人生の幕を閉じる時、何を持って幸福だったと言えるでしょうか？人から敬われ、その死を悼まれるような人生。名を成して羨まれながら閉じてゆく人生。誰からも顧みられずにさびしく息を引き取るような人生。多くの人に影響を与えるような偉業を成した人生。目立たないけれどつつましかで、自分の立ち位置をわきまえた人生。いろいろあると思いますが、今日の5章に出てくるエノクのように「神と共に歩んだ。」人生を送り、信仰によって天に上げられてゆくことが最高に素晴らしいことではないでしょうか。

神様がご自分に似せて人アダムを造られました。人は罪を犯しエデンの園から追い出されてしまい、そこで2人息子カインとアベルをもうけます。しかし捧げ物の事でカインが弟アベルを憎み殺してしまうという悲劇が起こりました。神はアベルの代わりにセツをアダムに授けられます。ここから新たに系図が広がってゆきました。アダム、セツ～ノア～アブラハム～ヤコブ～ヨセフ～モーセ～ダビデと続き、イエス様に結びつきます。

この5章にアダムからノアまで10人のイスラエル民族の祖先が出てきますが、いずれも大変な長寿で殆どが900才以上生きています。その中でエノクの人生だけが365才。ほぼ3分の1ですね。彼の場合は死んだとは書かれておりません。エノクは「神と共に歩んだ」と記されています。彼は敬虔に神と共に生き、死を見ることなく「いなくなった。」と書かれてありますが、これは“携挙”を表しています。天地創造の初めに既に世の終わりの再臨の事柄が書かれてあるのです。しかもエノクは預言者で、世の終わりのさばきも預言をしてあることがユダの手紙14、15節に書かれてあります。旧約聖書だけではなく、新約聖書両方が大切に関係しあっています。新約の目を持って旧約を読む必要があるゆえんです。ここにはイエス・キリストの名前も出てきませんが、救い主イエス・キリストによって与えられる永遠のいのちへと移されているエノク。しかもヘブル書11:5には「信仰によって、エノクは死を見ることのないように移されました～移される前に、彼は神に喜ばれていることが、証しされていました。」と書かれてありますが、ただ一方的に神さまがエノクを引き上げられたのではなく、彼の信仰によって引き上げられたことが分かります。

私達も日々様々な困難な問題の中に置かれているかもしれませんが、携挙、再臨といった世の終わりの事柄にフォーカスを絞り歩んでゆく時に、軌道修正も早くできます。遠方に焦点を合わせると、目の前の小さな事にとらわれず、道から大きくそれることなく目的地へ行けます。今をいかに生きるべきかを主に問い、備えの一步一步を踏み出してゆきましょう！

♪エノクのごとくに われをも上に 移させたもう迄 日々主と歩まん
ひとあし ひとあし 主に縋りて 絶えず絶えず われは進まん♪

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師：イエス・キリスト

牧師：ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014.6.29 No.795

新年のみ言葉

いつも主にあって喜びに満たされなさい。

もう一度言います。喜びなさい。

ピリピ書4章4節

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ3：16



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccfhr/>

